

# 突然 天井落ちた

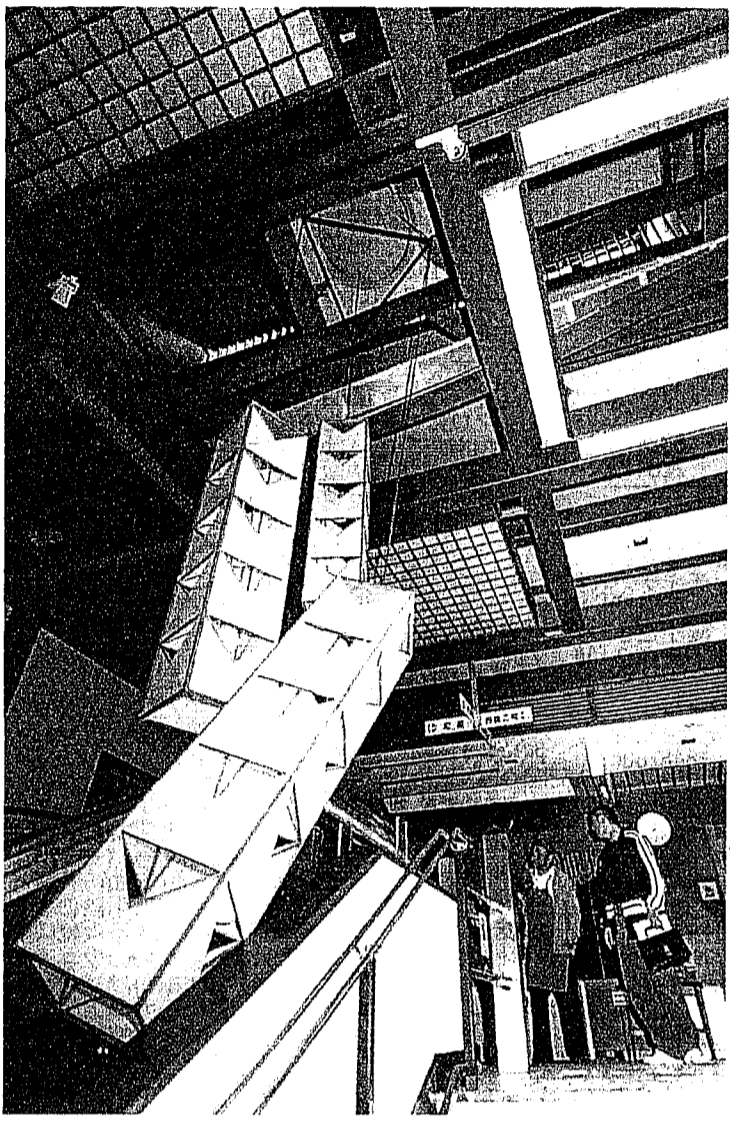
### 三重 震度5強

「ドーン」。下から突き上げるような大きな揺れの後、数十秒間にわたって横揺れが続いた。15日、三重県を襲った地震。夜には余震も起き、住民の不安は高まった。

〈本文記事一面〉

## 「下からドーン」数十秒の揺れ

■旅先で遭遇  
三重県亀山市の名阪国道(国道25号)沿いの「名阪関ドライブイン」2階食堂では、天井板が数か所はがれ落ち、食事中の金沢市館町、自営業東秀一さん(60)ら客2人が頭に軽いけがを被っていた。東さんは、約60人の団体で伊勢市方面へ向かう途中。先月には地元で能登半島地震にも遭遇した。「突然、天井が落ちてきた。旅行先でも地震に見舞われるとは」と驚いて、数十秒間、揺れた」と声を震わせていた。



### 1週間余震注意

気象庁は15日午後2時、記者会見を開き、「場所に よっては震度5弱程度の余震の可能性があると述べ、今後約1週間は特に注意するよう呼びかけた。同行は、今回の発生地域について



午後0時19分の地震の主な地域の震度は次の通り。  
▽震度5強 三重県亀山市  
▽震度5弱 三重県鈴鹿市、津市、伊賀市  
▽震度4 同県四日市市、桑名市、いなべ市、松阪市、伊勢市、滋賀県甲賀市、奈良県高取町  
▽震度3 大津市、奈良市、石川県加賀市、福井市、長野県茅野市、岐阜県大垣市、名古屋市、京都市、堺市、和歌山県古座川町

声も震わす。鈴鹿市の県営鈴鹿スポートセンター・水泳場でも、ツカサのプールの天井からアルミ製の遮光板(約1坪四方)が水面に落ちた。水泳競技のため、プールには約300人がいたが、けが人はなかった。



### 内陸地震頻発▼「海溝型」発生 過去の傾向

気象庁によると、今回の地震は、西日本が乗っている「ユーラシアプレート」という巨大な岩板の内部で

■商品散乱  
亀山市東御幸町のレンタルビデオ店「ゲオ亀山エコー」は、2階の棚のDVDやビデオのほとんどが床に散乱し、この日の営業を取りやめた。店長の浜崎洋志さん(28)は、「いきなりドーン」という感じで激しく揺れ、何秒か続いた。女性店員は泣き出し、店内の客も走り出すなどして一時パニック状態になった」と話した。

■無事ホッと  
奈良県明日香村では震度2を記録したが、石室の解体が行われている高松塚古墳では、文化庁の担当者らが壁面などに被害がないことを確認した。17日の北壁

取り外しに向けた準備作業のため、北壁を支えるワレット材を外しており、昼休みで現場を離れていた担当者5人は急いで戻った。そのうちの一人は「無事よかった。地震への対応もしっかり考えておかないと」と、気を引き締めていた。

る地震があり、同県輪島市で震度3、七尾市、志賀町、穴水町で震度2を観測。気象庁によると、震源の深さは約10時、マグニチュードは3.6と推定される。

断層がずれたために起きたとみられる。日本付近は、太平洋プレートが東からユーラシアプレート方向に沈み込んでいるため、ユーラシアプレートは西方向に押されている。その結果、今回の地震では地盤が北東方向と南西方向から押される力を受け、断層の片方がもう一方に乗り上げる「逆断層型」で、深さ16キロにある断層がずれたとみられる。政府の地震調査研究推進本部が「主要活断層」に指定している「布引山地東縁断層帯」がある。この断層帯について同本部は、マグニチュード(M)7.5前後の地震が30年以内最大1%の確率で起きると予測している。

今回の地震について、名古屋大学の鈴木康弘教授(防災地理学)は「今回は断層帯の一部が動いたと思われる。将来、断層全体が動く可能性も考えなくてはならない」と指摘。さらに、南海、東南海地域で繰り返し起きている海溝型巨大地震の数十年前には、西日本で内陸の地震が頻発した傾向があることに触れ、能登半島地震を含めプレート内部の地震が起きやすくなっている。海溝型の地震に

能登地方でも地震  
15日午前6時39分ごろ、石川県能登地方を震源とする

④激しい揺れで天井の飾り付けが落ちた名阪関ドライブインのレストラ(15日午後2時30分、亀山市)  
⑤高橋美帆撮影  
⑥屋根が落ち込み、瓦などが落ちた民家(同2時25分、四日市市)で、谷之口昭撮影